



令和8年1月9日
御前崎市立さくらこども園

新しい年が始まりました。今年もよろしくお願いたします。

年末年始をお家でゆっくり、そしてたっぷり楽しんだ子ども達の園での新年のスタートはとっても元気でした。幼児部の子ども達の始業式では「3学期が終わると、みんな一つ大きくなるよ。いっぱい遊んで大きくなろうね!」「早く寝て、早起きて、朝ごはんをしっかり食べよう!」「元気なあいさつをしよう!」「病気になる、事故にあわないようにしようね!」と話しました。

乳児部の子ども達にも、早寝・早起き・朝ごはん、あいさつの気持ちよさ、病気や事故の予防は大切なことです。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」などという言い方をしますが、この時期は毎日が忙しく、あっという間に過ぎてしまいます。学年の締めくくりでもあるこの時期は、年少・中・長の子供達は進級、入学への期待が意欲につながり、0・1・2歳児の子ども達の動き、言葉などには可愛らしい中にも逞しさを感じたりして、ますます大きくなったと実感するようになってきます。子どもたちが今までに身に付けてきた力を十分発揮しながら、友達や先生達と充実した楽しい生活を過ごせるようにしたいと思います。



登園時間内に登園してください

幼児部（年少・年中・年長）は8時50分までに、乳児部（1歳・2歳）は9時00分までに、登園してください

園児の安全管理上、登園している園児の人数を正確に把握する必要があります。

厳しい寒さはこれからが本番です。朝起きるのが辛かったり、登園を渋ったりしてお家の皆さんを困らせるかもしれません。『早寝・早起き・朝ごはん』で元気に登園できるように温かい励ましの言葉をかけて送り出して下さい。

◆◆◆◆◆ 嘔吐や下痢のなど胃腸の症状での、欠席や早退が増える時期です ◆◆◆◆◆

【下痢について】

下痢のほとんどは、ウィルス性の感染症です。症状が治まった後も1週間から1か月間は便にウィルスが排出され続けるものもあります。下痢、腹痛、嘔吐などは、感冒性胃腸炎の症状としても多く確認されています。

園で子ども達は手洗い、うがいをして、感染予防をしています。全てのウィルスがなくなることはありません。子どもは口や鼻に手を持っていたり、食べ物を手づかみで食べたりすることが多いので、ウィルスを体内に取り込むリスクが高いです。

また、長時間にわたって集団で過ごすこども園ではウィルスが拡がりやすく、重症化してしまうお子さんもいます。症状が出ている間は登園を控え、自宅で療養してください。

食事をしても下痢にならず、ご家庭において普通便が確認できたら登園可能です。

※ 嘔吐物で汚れた衣類や寝具を水で濯いだり、洗ったりすることにより、感染症が拡大してしまう恐れがあります。園で嘔吐してしまった場合は汚れた衣類や寝具は水で濯がずにお返しします。ご承知おきください。

1月15日（木）に どんど焼きをします！

お正月飾りを焚き上げる日で焼いた餅を食べると1年を健康で過ごせると言われています。

幼児部の子ども達が、魔よけの力があるという小豆を煮て、焼いたおはたき餅を入れて、お汁粉を食べて無病息災を願います。

当日、正月飾りや書初めなど、燃やせるものがありましたら、ぜひお子さんに持たせてください。

